

科 目 名	学年	期別・授業形態・単位数	教 員 名 西 嶋 久 勝 研 究 室 ー 内 線 電 話 ー e-mail: @g.maizuru-ct.ac.jp
建設設計製図 I (都市環境コース) Construction design drafting	4	前期・演習・2単位	
科目到達レベル: <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 適用 <input type="checkbox"/> 4. 分析 <input type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造			
学修単位科目		授業 (30 時間) + 自己学習 (60 時間) = 標準 90 時間の学習時間	
<p>【授業目的】 この科目は、地域における現実の問題を踏まえて、具体的な問題解決に向けたアイデア創出・計画立案・実行・実現、評価、発表等を通じて創造性を育成する都市環境コースの学生を対象とした科目である。</p> <p>与えられた問題や課題を分析して、問題解決のための方策を立案し、計算、解析、設計や製作を行う問題解決能力が要求される授業である。学生自ら資料収集や各種の情報に基づいて問題解決のための方策や手段を考案し、設計製図や作品製作を行い、最終的に成果物を提出する。設計・製作を通じて建築物の機能、寸法、空間構成、製図法、模型製作などを学ぶ。また、人間と都市との関係性、景観、地域文化・歴史との関連性についても学ぶ。</p> <p>【Course Objectives】 Students will study :</p> <p>1 practical problem-solving skill for useful and effective problems in Architectonics.</p> <p>2 various creative and effective designs through some information.</p> <p>3 how to make a creative design and accomplish a new project form their own good ideas.</p>			
【到達目標】			
<p>1. 問題解決策、設計や製作の計画を立てることができる。</p> <p>2. 問題点解決や製作課題に必要な資料や情報を収集することができる。</p> <p>3. 問題点の解決や製作課題に向かって段階ごとの計画を遂行することができる。</p> <p>4. 問題点の解決や製作課題に向かって取り組むスケジュール管理を行うことができる。</p> <p>5. 問題点の解決や課題の製作が実現することができる。</p> <p>⑥ 与えられた条件をもとに、コンセプトがまとめられる。</p> <p>⑦ 与えられた条件をもとに、動線・ゾーニングのエスキースができる。</p> <p>⑧ 与えられた条件をもとに、配置図、各階平面図、立面図、断面図などが描ける。</p> <p>⑨ 設計した建築物の模型またはパースなどを製作できる。</p> <p>⑩ 講評会等において、コンセプトなどをまとめ、プレゼンテーションができる。</p>			
【学習・教育到達目標】			
<p>(C) 修得した知識を統合し、製品やシステムを考案できる。</p> <p>(H) コンピュータを技術の実践に活用できる。</p> <p>(I) 責任を自覚し、互いに協力し合い、チームの目的達成に貢献できる。</p>			
【キーワード】		【授業時間】	
問題, 課題, 設計製図, 計画, 実行 Problem, project, cad design, plan, practice		2 時間 (90 分) × 15 週 = 30 時間 (22.5 時間)	
【授業方法】		【学習方法】	
地元のベテラン技術者の講義を通じて、地域の現実問題に関する問題を明確化し、その解決や課題製作に当たる。最後に、問題解決結果や課題製作についての PowerPoint による中間・最終発表会やポスター等による実演展示説明会等を行う。		<p>1. 問題解決や課題製作のための情報収集を行う。</p> <p>2. 問題点の解決や製作課題に向かって段階ごとの計画を遂行する。</p> <p>3. 問題点の解決や課題の製作が実現する。</p>	
【履修上の注意】		【科目の位置付け】	
本科目は学修単位科目であり、授業でのグループ学習と授業外での自己およびグループ学習で成り立つものであり、個人日報を毎回提出する。また、対象としている地区に設ける各種の建物や施設等の配置やデザインの具現化のため、3D 表現ができる SketchUp, ArchiCAD などのソフトウェアの習熟が必要である。		<p>1. 先行して履修すべき科目 建設製図 I, 建設製図 II, 測量実習, 都市計画, 建設製図製作</p> <p>2. 後で履修する関連科目 建設設計製図 II, 建築デザイン I・II</p> <p>3. 同時に履修する関連科目 建築環境 I, 建築計画 I</p>	
【定期試験の実施方法】 第 8 週目および第 15 週目に中間発表会および最終発表会を行い、定期試験に代える。			
【成績の評価方法・評価基準】			
発表と成果物に対して、学生と教員が評価を行い、それらの合計と自己学習の成果をもって総合成績とする。授業外での自己およびグループ学習に関する個人日報の評価と班としての評価 (発表・A1 ポスター等) をそれぞれ 60% および 40% とする。			
課題解決の提案資料等をまとめた報告書, 設計, 製図, 模型製作, 提案書についての到達度を評価基準とする。			

【教科書・教材等】

教科書：特になし

教材：特になし

【参考書・参照 URL 等】

特になし。授業に必要な参考資料等は、<http://w3.maizuru-ct.ac.jp/> に置いておく。

【授業計画】

期別・週	内 容	到達目標	教科書参照ページ	
前	第1週	シラバスの説明，地域の現実を踏まえた問題および課題の提起 演習課題，資料収集	1	
	第2週	問題解決策，設計や製作の計画を立てる 演習課題，資料収集	1，⑥	
	第3週	問題解決策，設計や製作の計画を立てる（問題・課題の絞込み） 演習課題，エスキース	2，⑦	
	第4週	問題点解決や製作課題に必要な資料や情報を収集・調査・検討 演習課題，エスキース	2，⑦	
	第5週	問題点の解決や製作課題に向かって計画を遂行する 演習課題，作図	3，⑧	
	第6週	問題点の解決や製作課題に向かって計画を遂行する 演習課題，作図	3，⑧	
	第7週	問題点の解決や製作課題に向かって計画を遂行する 演習課題，発表準備	3，⑧	
第8週	★前期中間試験（中間発表会）			
期	第9週	問題点の解決や製作課題に向かって計画を遂行する 演習課題，修正	3，⑧	
	第10週	問題点の対応策や課題製作を遂行する 演習課題，図	4，⑨	
	第11週	問題点の対応策や課題製作を遂行する 演習課題，作図	4，⑨	
	第12週	問題点の対応策や課題製作を遂行する 演習課題，模型製作	5，⑨	
	第13週	問題点の対応策や課題製作を遂行する 演習課題，模型製作	5，⑨	
	第14週	問題点の対応策や課題製作を遂行する 演習課題，発表準備	5，⑨	
	第15週	発表・展示	5，⑩	
★前期期末試験（最終発表会）				
製作物返却，到達度確認				

【学生へのメッセージ】

これまで勉強してきた専門知識を利用して，地域における問題を解決するためにアイデアを出して各種の施設や建物などの設計や製作を行う授業内容となっており，教員はアドバイスをするだけで何も教えないので，学生自らが問題を分析し解決策や計画を立てて，計算，解析，設計や製作を実行することになる。

地方創成の観点より，地域における現実問題を踏まえて，その課題の明確化を行うとともに，その課題解決のために，君たちの溢れるアイデアを結集して，実現可能な各種の施設や建物の設計や整備などの成果や作品を創出して下さい。